

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

《生きもので季節にふれる》「夏の魚・トビウオ」の赤ちゃんを期間限定展示



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内1階「すがたにふれる」ゾーンにて、トビウオの赤ちゃん(全長約4cm、5匹)を、2019年8月3日(土)から18日(日)までの期間限定で展示します。ユニークで優雅なその姿を、横からも上からもご覧いただけます。

トビウオは、胸ビレを翼のように大きく広げ、水面上をまるでグライダーのように飛ぶことで知られています。初夏から秋にかけて日本の沿岸にやってくることから、夏を代表する魚とも言われています。

トビウオの赤ちゃんは、海が荒れた後の岸壁近くの水面で、流れ藻に隠れて泳いでいる様子が見られます。今回展示するものは全長約4cmで、トビウオの特徴である胸ビレがすでに大きく発達しており、横から見た姿は飛行機のように、上から見るとまるで蝶が羽ばたいているかのようです。

トビウオの赤ちゃんは、採集できる季節や条件が限られており、さらに体が傷つきやすく神経質なことから、長期間の飼育展示が難しい魚で、その姿を見る機会も多くありません。ニフレルでトビウオの赤ちゃんを展示するのは、昨年の夏に引き続いて2回目となります。

また、今年3月にオープンした新ゾーン「かくれるにふれる」で、タツノオトシゴの仲間「クロウミウマ」の赤ちゃん48匹を展示しているほか、クラゲの赤ちゃん(エイレネクラゲの一種)23匹も「すがたにふれる」ゾーンにて展示中です。



※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前

TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10:00～20:00 (最終入館は 19:00) ※8月31日までは 9:30～20:00、8月10日～18日は 9:00～20:00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、ミュージアムショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部 SRC 造、RC 造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	https://www.nifrel.jp
※ ツイッター	https://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	https://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL